



豊田市 学習用タブレット 運用ガイドブック

＜保護者用＞ 2026.4

目次

- 1 はじめに
- 2 学習用タブレットの使い方
- 3 子どもたちを守るために
- 4 おわりに

1

はじめに

このガイドブックには、豊田市の小中学生が学習用タブレットを適切に使って学習できるように、次の2つのことをまとめています。

- ・ 学習用タブレットを使う目的や使い方
- ・ 学習用タブレットを使うときのルール

学習用タブレットは豊田市から児童生徒に一人 1 台貸し出すもので、同じものを大切に使います。学習用タブレットは効果的に使うと学習効果を高められる素晴らしい道具ですが、使い方のルールを守らずに誤った使い方をするると重大な事件に巻き込まれる危険もある道具です。このガイドブックをお子様と一緒に読みいただき、ご家庭で用いる場合も安全かつ効果的に利用してください。

① 使用の目的

おもに、以下の力を身に付けるために学習用タブレットを使います。

- ・自ら目標を立て、計画的に学習する力……………〈自立・自律性〉
- ・情報を選択し、つなげて、表現する力……………〈言語能力、情報活用能力〉
- ・課題を見つけ、他者と共に解決する力……………〈協働性、課題発見・解決能力〉

② 使用場所

- おもに学校や家庭で使用します。校外学習など、授業で校外に持ち出して使うこともあります。

③ 使う前に確認する大切なこと

- めれた手や水筒の近くなど、水分や湿気のあるところでは使いません。
- 埃が多いところや砂がかかるところでは使ってはいけない理由を考えましょう。
- 強い日差し・ストーブの近くなど、高温になるところでは使いません。
- 置き忘れや紛失に注意し、常に学習用タブレットをそばに置きます。
- 歩きながら使ったり（落とす）、持ったまま走ったり（落とす）、床や地面に置いたり（踏まれたり）するなど、破損する場面を考えましょう。
- 学習用タブレットの上に本や筆箱などは置かず、使う場合は机の上を整頓して使います。
- 立ったまま使用するときには、肩掛けバンドを使用します（小学校1・2年生）。
- 画面は指かタッチペンでふれ、硬いもので触れるとどうなるか考えましょう。
- 磁石など、学習用タブレットの調子が悪くなるものは近づけません。

④ 保管について

- 学校では、先生の指示にしたがって、保管庫やロッカー、机の横など安全な場所で管理します。
- 学校の許可なく学校の外に持ち出しません。
- 家庭に持ち帰って使う場合、登下校中は、カバンから出しません。
- 持ち帰りのためにカバンにしまうとき、画面等を保護する工夫をしたり、カバンに無理に入れたり（圧迫しない）しないようにします。

⑤ データの保存・移動で守ること ※詳しくは4ページを参照

- 学習用タブレットで作ったデータやインターネットから取り込んだデータは、学習活動で先生が許可したものだけを学校指定のクラウドに保存します。
- 学習用タブレット本体には、原則、データを保存しません。
- 学校からの指示がない限り、私物のパソコンで、学校指定のクラウドにデータのアップロードまたはダウンロードを行いません。
- 私物のパソコンや USB メモリ等の記録媒体を学習用タブレットにつなぎません。
 - ・有線をつないでよいのは、イヤホンと AC アダプタです。
 - ・無線をつないでよいのは、原則、自宅もしくは市が貸与した Wi-Fi です。
- インターネット上のファイルには危険なものもあるので、むやみにダウンロードしません。ダウンロードするとどんな危険があるか考えて行いましょう。

⑥ カメラでの写真・動画撮影及び録音機能について

- 学校でカメラ機能や録音機能が使いたいときは、事前に先生に伝えます。
- 家庭でカメラ機能や録音機能を使う場合は、事前に保護者に伝えます。
- カメラで人や人の家や持ち物などを撮影したり、録音機能を使ったりするときは、必ず相手や場所の許可をもらいます。



- ⑦ 設定で守ること** ※詳しくは4ページを参照
- 学習用タブレットの設定は、先生の指示なく勝手に変えません。
 - パスコード、画面設定、アプリの削除、各自制限の変更など勝手に行いません。
 - パスコード・パスワードは、先生と保護者以外の人に教えません。使用していて、不審な点があったら、すぐに先生に伝えます。そのままにしておくとうんなことが起こるか考えましょう。
 - 学校の外では家庭の Wi-Fi 以外に、学校の許可なくつなぐことはできません。
 - 学校の許可なく新たにアプリを入れたり、機能を追加・削除したりしません。
 - Microsoft アカウントは、学習以外のことに用いません。
- ⑧ 個人情報について** ※詳しくは4ページを参照
- 学習用タブレットを他人に貸したり、使わせたり、持ち運ばせたりしません。
 - 自分や他人の個人情報はインターネット上に絶対に公開しません。
 - 他人を傷つけたり、いやな思いをさせたりすることを、書いたり、送ったりしません。
- ⑨ 特に、家庭で使うときに注意すること**
- 使う時間やルールは家庭でよく話し合って決めます。
(目安) 小学生 夜 9時まで 中学生 夜 10時まで
 - 家庭で使う場所・置く場所を決めます。特に床・イス・ベッドには置きません。床・イス・ベッドに置くとどんな危険があるか考えましょう。
 - 持ち帰り時に破損・紛失・盗難があった場合は速やかに学校に連絡します。
 - 食べたり飲んだりしながら使いません。
 - 学習に関連のない使い方はしません。
(例) 趣味で Web サイトにアクセスしたり、ゲームをしたりする。
SNS やメールで個人的な連絡をとりあう。
※安全のため、操作を記録しています。また、一部の機能を停止しています。
 - ケースをつけたまま使います。
 - 充電器を持ち帰った場合、学校に持ってくる前夜に充電を済ませておきます。
- ⑩ 健康のために**
- 良い姿勢を保ち、画面との距離を 30 cm以上離します。
 - 30 分に1回は 20 秒以上画面から目を離し、遠くを見るなどして目を休めます。
 - 寝る時刻の1時間前には、使うのをやめるようにします。
 - 部屋の明るさに合わせて画面の明るさを調節します。夜間は輝度を下げます。
- ⑪ トラブルのときに**
- あやしいサイトに入ってしまったときなど、危険を感じたら学習用タブレットを閉じ、すぐに身近な大人(先生や親)に知らせます。
 - 破損、故障、紛失したときは、すぐに身近な大人(先生や親)に知らせます。本ガイドブックに則った適切な使用の範囲を超えた扱いによって破損・故障した場合、修理費を保護者負担とする場合があります。
- ⑫ 使用の制限**
- ここに記載のルールが守れないときは、学習用タブレットを使うことができなくなります。

3

子どもたちを守るために (情報セキュリティ)

- 教員がデジタル・シティズンシップに関する正しい知識をもち、手本となります。
- 問題が起きたときは、まず校内で情報共有し、速やかに対応します。

危険な行為	参考情報
<input type="checkbox"/> 個人情報をインターネットに流出してしまう。 <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ※○の個人情報についても、教育情報セキュリティポリシーの基準を満たしたクラウドの運用によって守られます。 </div>	○ 学習用タブレットで扱える個人情報 姓または名 (SKYMENU、Qubena、Office365 など、OneDrive 上で利用するときはフルネーム可)、成果物 (意見・作品・レポート等)、個人名が特定されない写真や動画、趣味嗜好 (交流授業での自己紹介程度) × 学習用タブレットで扱えない個人情報 住所・電話番号・メールアドレス・生年月日・個人名が特定される写真・成績など機微な情報
<input type="checkbox"/> 違法な画像や動画等をダウンロードして他者の権利や肖像権を侵害する。	・ 無料サイトを含む、インターネット上にアップロードされている写真、動画、音楽、文章はすべてその作者に著作権があります。 ・ 特に動画は全般的にダウンロードが禁止されています。
<input type="checkbox"/> パスコード等を忘れる。パスコード等を無断で変更する。	・ 忘れた場合、学校に連絡してください。 ・ パスコードは勝手に変更しません。教員が学習用タブレットを開いて学習状況を確認するためです。
<input type="checkbox"/> 学習に関係ないアプリをダウンロードする	・ 設定を学校に許可なく変更しません。個人的なアプリのダウンロードは厳禁です。
<input type="checkbox"/> 自宅の外で Wi-Fi につないでしまい情報が抜き取られる。	・ 学校外では、家庭の Wi-Fi もしくは学校が許可した Wi-Fi のみ接続できます。
<input type="checkbox"/> 有害なコンテンツにアクセスしてしまう。	・ 利用状況を時々確認してください。有害サイトはブロックしていますが限度があります。問題が起きたときは、直ちに学校に連絡してください。
<input type="checkbox"/> 課金や有料サービスでの想定外の請求がくる	・ 直ちに学校に連絡してください。請求額の補償はできませんので、ご注意ください。

4

おわりに

10 年後の未来はどんな世界になっているでしょう。情報化が進み、生成 AI はもちろん、今はまだ存在していないような、さまざまな先端技術が生み出され、生活を豊かにしていることでしょう。そのような未来において大切なことは、必要な情報を収集したり、自らの学びや生活に適切に活用したりすることができる力です。こうした力を育むことが、これからの未来を幸せに生きていくためには大切であると考えます。

子どもたちが豊田市で育ったことを誇りにし、日本そして世界へと視野を広げ、自分の持ち味を生かして未来社会で躍動することを願っています。学習用タブレットを使った学びが、その一助となるように支援していきます。

2026年4月 豊田市教育委員会

学校名	年・組・番・	名前	保護者氏名